

平成27年度 第4回 荒川地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成27年12月17日(木) 15:00~16:50
2. 開催場所 荒川支所 3階 第1・2会議室
3. 出席委員 会田 健次、信田 瑠美子、齋藤 富一、小川 巖、片岡 弘、
石山 忠一、高橋 豊明、山田 正巳、秋山 美和子
4. 欠席委員 山田 俊治郎、鈴木 薫、菅原 忍
5. 出席職員 小川荒川支所長
荒川支所地域振興課；小川室長、田島主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成27年度 第4回荒川地区地域審議会 会議次第

・日時：平成27年12月17日（木）

午後3時～

・場所：荒川支所 3階 第1・2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 第2次村上市総合計画策定に向けての提言書について

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1. 開会 (15:00)

事 務 局； 定刻になりましたので、只今から平成27年度第4回荒川地区地域審議会を開会いたします。それでは開会にあたりまして、会長よりご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

会 長； 本日はこの冬一番の寒さとなりましたが、皆さまお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今年度4回目の地域審議会を迎えましたが、今回が最終回となります。これまでに皆さまから提案していただいた内容を事務局でまとめていただきましたので、本日はその内容をさらに検討し、荒川地区の提言書としてまとめ、来年の2月2日に市長に直接提言したいと思います。本日は時間もありますので、じっくりと審議していただきたいと思います。

また、まち・ひと・しごと創生法の関係で、市で人口ビジョン、総合戦略を策定いたしました。今後はこれらの計画に基づき、国から交付金をいただいて事業を実施していくことになろうかと思いますが、現在、交付金額等の詳細は未定の様です。

それでは、皆さまよろしくをお願いいたします。

事 務 局； ありがとうございます。それでは、委員の欠席を報告いたします。本日は、山田俊治郎委員、菅原委員、鈴木委員が欠席しております。

次に資料の確認をお願いいたします。

【配布資料の確認】

それでは会議を進めさせていただきます。

日程3、議事に入ります。地域審議会設置に関する協議書第6条第1項の規定によりまして、ここからは会長に議長をお願いし、会議を進めていただきたいと思います。会長、よろしくをお願いいたします。

3. 議事

(1) 第2次村上市総合計画策定に向けての提言書について

会 長； それでは規定により会長が議事運営することになっておりますので、私が議長を務めさせていただきます。

議事(1)「第2次村上市総合計画策定に向けての提言書について」事務局より説明をお願いいたします。

事 務 局；【第2次村上市総合計画策定に向けての提言書について説明】

会 長； 皆さまから出していただいた意見を集約するような形で事務局にまとめていただきましたが、最初に提言書(案)1.安心して仕事ができる環境整備について、不足する部分やご質疑等はございませんか。

委 員； 市長へ提出するものは提言書(案)だけでしょうか。それとも、別冊も一緒でしょうか。

事務局； はい、別冊も一緒に提出いたします。

委員； 提言書（案）についてですが、この文章表現だと単に意見を述べているだけで、提言書になっていないように感じます。「何々を市に要請する」や「何々を市に提言する」のような表現にするべきではないでしょうか。

事務局； 提言書の様式や表現については、本庁から指示されている部分もありますので、協議し可能であれば修正いたします。

会長； 昨日の総合戦略の会議において、ある委員から「見えにくい部分もあり、もう少し具体的な計画の方がわかりやすい」などの意見がありました。また、人口ビジョンに関しても、具体的な目標数値を定めていないものでした。県内でも目標数値を定めていない市町村は、2、3しかないようですし、市にはもっと積極性を持ってもらいたいものです。

委員； 最近テレビ等でひとり親のことがよく取り上げられておりますが、この地域の実態はどうなっているのでしょうか。

事務局； 多い状況です。

委員； そうしましたら、提言書（案）の1に、ひとり親世帯への支援を記載したらどうでしょうか。

事務局； はい、記載いたします。また、別冊についても①子育ての3に項目を一つ増やし、(5)ひとり親世帯への支援を追記させていただきます。

会長； 続きまして、提言書（案）2. 高齢者の生活支援について、何かご質疑等はいかがでしょうか。

委員； 高齢者世帯の雪下ろしに対する助成制度があるようですが、既に実施されている施策等で効果的なものは継続、拡充等と記載してはどうでしょうか。

事務局； 提言書（案）2の文中にある公共交通の利便性の向上と小さな拠点整備の間に現状施策の拡充を記載いたします。

会長； 地域の力を活用した小さな拠点整備とは、地域の茶の間のことでしょうか。

事務局； これは総合戦略にも記載され、現在、高根集落が手を挙げておりますが、集落単位で注文をまとめて買い物をしたり、集落センターに行商の方を呼んで買い物をしたりする拠点づくりのことになります。拠点ができれば、家に籠りがちな高齢者が外に出る機会も増えますし、介護予防や孤独死の防止にも繋がるものと思います。

委員； このような活動をするのであれば、地域の茶の間も月に1、2回程度ではなく、常設できたらいいですね。

委員； 前坪住宅区には地域の茶の間が無く、自主防災組織もありません。地域内の交流が少なく、過去には孤独死された方もおりました。高齢者を見守るような体制整備が必要だと思います。

委員； 地域内の交流が少ないことは、防災だけではなく治安面においても不安があります。

会長； 次に提言書（案）3. 坂町駅前の賑わいの創出について、何かご質疑等はいかがでしょうか。

委員； 現在、米坂線存続のために行われている活動はありますか。

事務局； 米坂線整備促進期成同盟会でイベント列車を走らせております。

委員； 米坂線沿線は紅葉の季節になると素晴らしい景観となりますので、磐越西線やほくほく線のように観光面でPRしていければ良いと思います。

委員； 具体的なイベントや観光ルートを創設しなければ、坂町駅は単なる通過点になってしまうのではないかと思います。

事務局； 旅行社と提携し、山形（米沢）、村上、新潟、東京を繋ぐ周遊観光ルートの創設を検討したり、観光路線としての仕組み作りが大切だと思います。

委員； 機関区が無くなってから坂町駅前に賑わいがありません。坂町駅には全国的にも珍しくなった転車台があり、蒸気機関車運行の際に利用されておりますが、これらを有効活用し、坂町駅前の活性化に取り組んでいただきたいと思います。

委員； サーモンフィッシングの時期には、全国各地から大勢のお客さんが荒川を訪れますが、単に魚を釣ってもらうだけではなく、例えば坂町駅前の料理屋で鮭を使った料理を提供するなど、もっとお金を使っていただくことも考えていかなければならないと思います。

事務局； サーモンフィッシングは宿泊パックが先行して解禁となりました。坂町駅前の旅館には大勢の釣り客が宿泊されましたし、酒店では土産用の地酒がたくさん売れたと聞いております。

委員； 近頃、坂町駅前に空き家、空き店舗、更地が目立つようになってきました。これらを何とか活用できないものでしょうか。

委員； 県内各地で空き店舗等を活用した取り組みが行われているようですが、誰が主体になって始めるかが難しいところだと思います。

会長； 次に提言書（案）4. 誰もがいつでも学べる環境の創出について、何かご質疑等はございませんか。

会長； 無いようですので、次に進みます。
提言書（案）5. 金太郎飴行政からの脱却について、何かご質疑等はございませんか。

会長； 合併して8年が経過しました。支所の職員数はさらに減少していくのでしょうか。

事務局； 合併時に定めた市全体の定員目標 733 人に対し、現在の職員数が 760 人弱となっております。高橋市長は現在の職員数で限界だろうとの見解を示しており、定員適正化計画を見直す方向で検討中ですし、むしろ保育士などの専門職はもっと増やしていかなければならないと思います。

会長； 未満児の待機数が多いとのことでしたね。

事務局； はい。保育整備計画を策定した平成 22 年当時、荒川地区の入園希望者は 260 人でした。現在、平成 28 年度の入園希望者を取りまとめ中ですが、315 人となっております。これは、年齢ごとの児童数が大きく増えたわけではなく、未満児保育を希望する方が増えているという状況となっております。

委員； 女性の社会進出も増えましたし、若者を定住させるためにはさらなる子育て支援の充実が必要だと思います。

委員； 私はスポーツ少年団の指導をしておりますので、お母さん方と話す機会が多

いのですが、やはり未満児保育を何とかしてほしいという声をよく聞きます。

事務局； 現在、金屋保育園を改修し、来年の4月より4カ月児からの受け入れを開始する予定です。しかし、保育士の配置には基準があり、3歳児以上であれば1クラスに1人の保育士で対応できますが、0歳児は3人に対して1人の保育士が必要となります。そのため、多くの保育士の確保が必要となりますが、当市も他の自治体同様に保育士不足に悩んでいる現状です。少子化の影響で今後は小学校の教員が余って来ることが想定されておりますので、国政レベルでは教員の有資格者を保育士として認めようという動きさえもあるようです。

会長； 保育士のOB等に依頼することはできないのでしょうか。

事務局； 心当たりのある方には既に打診をしておりますが、近隣の胎内市や新発田市では臨時職員にもボーナスを支給するため、有資格者がそちらに流れている現状です。議会でも、村上市の臨時職員の待遇が近隣の自治体と比べて悪いという指摘を受けました。来年の4月からは、臨時職員全体の賃金を底上げし、人員確保に努めていきます。

委員； やはり、最重点目標は人口を増やすことだと思います。経費はかかるかもしれませんが、子育て支援を充実させるためにも人員確保に努めていただきたいと思います。

事務局； 人口ビジョンの分析では、新潟方面への人口流出が一番多い状況ですので、荒川地区が防波堤となり人口流出を防ぐと共に人口増加にも努めていかなければならないと思います。

委員； 提言書(案)5の文中に、「合併して8年、期日前投票に多くの地区外の人が荒川支所を利用するなど、住民が支所に求める機能に変化してきていることを踏まえ、各支所の在り方を検討する必要がある」と記載されておりますが、具体的にはどういうことでしょうか。

事務局； 新潟方面への買い物帰りや勤務先に近いということから、地区外にお住まいの方が荒川支所で投票するというケースが多くあります。また、期日前投票に限らずとも、同様の理由で窓口には地区外から大勢の方が来庁されます。そのようなことから、各支所の職員体制や機能について再検討することが必要かと思えます。

委員； ふるさと納税はかなり評判が良いようですね。

事務局； ふるさと納税は9月から返礼品の送付を始めたことで、来年3月までの決算見込みで7,500万円の収入となっております。市長によるトップセールスや県人会等にパンフレットを送付するなど、積極的にPRした結果だと思います。返礼品では、村上牛や岩船米、酒や鮭が人気となっているようです。

委員； ふるさと納税に関して、国や県からの見返りはないのでしょくか。

事務局； これほどの収入がありますと、逆に交付税が減らされます。しかし、7,500万円の約半分を地元で消費いたしますので、地場産業が活性化し、法人税が増収になるなどの好循環が生まれます。

委員； ふるさと納税は用途を指定できるのでしょくか。

事務局； はい、できます。納税される際に用途を尋ねますので、目的ごとに分類し、

基金として積み立て、平成 28 年度から目的に合った重要施策に活用していきます。

会 長； 最後に提言書（案）6. 若者が暮らしやすいまちづくりについて、何かご質疑等はありませんか。

委 員； 良くまとめられていると思います。

事 務 局； 前回の会議で委員から公営住宅のお話がありましたが、12 月議会の一般質問でも公営住宅に関するものがありました。市長は建て替える必要があるものは建て替えるが、それだけではなく民間のアパートを借り上げたりすることも手法の一つであるという答弁をしておりました。

会 長； 公営住宅の利用状況はどうなっているのでしょうか。

事 務 局； 上の山住宅と南町住宅を除き、全てで空きがある状況です。荒川地区は、坂町住宅で 6 戸のうち 5 戸が入居されており、前坪住宅では 57 戸のうち約 6 割が入居されています。堤下団地では入居者の高齢化が進み、4 階、5 階に空きが出てきているという状況です。

会 長； 本日、委員の皆さまからご審議いただいた結果を反映させ、事務局で提言書の最終案を作成し、後日、委員の皆さまに配布いたします。市長への提言が 2 月 2 日となっており、まだ少し時間がありますので、内容をご確認いただき、何かございましたら事務局までご連絡をいただきたいと思います。

4. その他

会 長； 地域審議会は合併後 10 年という期限があったかと思いますが、今後はどうなるのでしょうか。

事 務 局； 地域審議会は法律に基づいたものと条例に基づいたものの 2 つありますが、法律に基づいたものは 10 年を期限として終了となります。しかし、地域審議会は、市政に対し市民の皆さんから幅広く意見を聞く場として重要であるとのことから、担当課レベルでは、条例に基づく地域審議会を立ち上げてはどうかという考えもあるようです。

会 長； 他に皆さまから何かございませんか。

無いようでしたら、これで本日の会議を終了させていただきます。

5. 閉会 (16:50)

事 務 局； 長時間にわたり慎重審議いただき大変ありがとうございました。

以上を持ちまして、平成 27 年度第 4 回荒川地区地域審議会の全日程を終了いたします。

大変、お疲れ様でした。